

編集後記

■編集委員 (50 音順)

伊 熊 健 一 郎	岩 崎 昭 憲	小 澤 壯 治	北 島 政 樹
北 野 正 剛	清 水 一 雄	徳 村 弘 実	東 原 英 二

今年は無雷医師が、世界で初めて腹腔鏡下胆嚢摘出術を成功させてから 20 年目の記念すべき年にあたる。ご存知の読者も多いと思うが、その功績に対して本田賞が授与されることになったことは、誠に喜ばしい限りである。いまや、わが国だけでも年間 10 万例に内視鏡外科手術が施行され、標準治療となっているものも多い。この急速な普及には本会が重要な役割を果たしてきた。その歴史をみると、1991 年に「日本内視鏡下外科手術研究会」にはじまり、低侵襲治療を求める時代の要求にも呼応して発展し、現在 9,000 名近い会員を擁する専門学会となった。その間、教育プログラムの充実、手術症例数を含めた現状の把握、手術手技習得のための技術講習会、関連学会・研究会との調整、さらに他領域に先駆けての技術認定制度の立ち上げなど大変な事業がここまですべて順調になされてきたことを思い起こすと、改めて本学会をリードしていただいた出月康夫前理事長とさらに将来に向けての構想を指示され学会を牽引されている北島政樹現理事長に感謝申し上げたい。

さて、本号の特集「嚢胞性疾患と内視鏡下手術」では、肺、縦隔、消化器官、肝、脾、子宮、腎の各々の領域について取り上げ編集している。このように領域横断的に会員に幅広い知識を伝達ができるのも本会の特徴である。この利点をぜひ日々の臨床に生かしてほしい。

また、本号の総説に掲載されているように、内視鏡外科の領域で世界的に新たな研究応用領域が生まれつつある。いわゆる NOTES (Natural Orifice Transluminal Endoscopic Surgery) は、2003 年、インドの Reddy & Rao により開始された新たな治療手技で、経口内視鏡により胃壁を貫通し腹腔内に到達し、種々の手術を行おうとするものである。指摘されているように、倫理面も含め解決すべき課題が多いものの、技術の進歩により克服可能なものも多く、今後の発展を期待する声も大きい。ただ、腹腔鏡下胆嚢摘出術の開始当初とは社会情勢が大きく異なっていることを認識し、臨床応用に向けての研究が慎重にかつ誰もが納得する形で進められることを期待する。

(北野正剛)

日本内視鏡外科学会雑誌 (第 12 巻 第 5 号) 2007 年 10 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1 部定価: 会員には毎号送付されます。その他については、1 部定価 2,835 円 (本体 2,700 円 + 税 5%) となります。

2007 年 年ぎめ予約購読料: 16,500 円 (税込) (配送料: 医学書院負担)

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (代表: 北島政樹)

〒162-0802 東京都新宿区改代町 26-1-B03 有限責任中間法人学会支援機構内

(☎ 03-5206-6007 Fax 03-5206-6008 担当: 佐々木) <http://www.jses.org>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 26-1-B03 Kaidaicho Shinjuku-ku, Tokyo, 162-0802, Japan

©2007, Printed in Japan

発 売: 株医学書院 (代表: 金原 優) (本誌担当: 藤田, 中田) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷㈱ ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 ㈱文栄社 ☎ 03-3814-8541 (Fax 03-3816-0415)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

●症例報告

腹壁浸潤を伴う肝癌に対する腹腔鏡補助下肝外側区域切除術の 1 例 …七島篤志・他 長崎大腫瘍外科
 腹腔鏡下総胆管切石術後、吸収性クリップにより十二指腸穿孔を合併した 1 例

……………山本紀彦・他 守口敬任会外科

FDG-PET 検査にて診断し、腹腔鏡下にて切除した直腸カルチノイド傍直腸リンパ節転移の 1 例

……………鈴木和太・他 兵庫医大第一外科

腹腔鏡下に切除し得た成人出血性回腸重複腸管の 1 例 ……………田中千恵・他 名古屋大消化器外科学

腹腔鏡補助下に手術を施行した胃石による小腸閉塞の 1 例 ……………森山初男・他 中津市民 H 外科

腸重積症で発症し腹腔鏡補助下に切除した成人悪性リンパ腫の 1 例 …北村雅也・他 川崎幸 H 外科

腹腔鏡下に切除した腹膜原発血管平滑筋腫の 1 例 ……………森山 仁・他 虎ノ門 H 分院消化器外科

胸腔鏡下修復手術を施行した左外傷性横隔膜ヘルニアの 1 例 ……村瀬勝俊・他 市立美濃 H 外科

CT で術前診断し得た鼠径ヘルニアによる続発性大網捻転症に対して腹腔鏡下手術が有効であった 1 例

……………植田 剛・他 星ヶ丘厚生年金 H 外科

完全内臓逆位症に合併した完全直腸脱に対し腹腔鏡下直腸固定術を施行した 1 例

……………西條文人・他 白河厚生総合 H 外科

(そのほか、数編を掲載予定)